

オプロ、2026年中に AI に対応した新サービス開発を発表


— 申請者の手続きをサポートする「AI 申請ナビゲーター」、

Fit to business を実現する「新販売管理ソリューション」で AI 活用を支援 —

株式会社オプロ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：里見一典、以下オプロ）は、AI を活用した新サービスとして「AI 申請ナビゲーター（開発コード：DUKE）」「新販売管理ソリューション（開発コード：REVEARTS）」を 2026 年中に展開することを発表します。

オプロ、2026年中に
AI に対応した新サービス開発を発表

**申請者の手続きをサポートする
「AI 申請ナビゲーター」、
Fit to business を実現する
「新販売管理ソリューション」で
AI 活用を支援**



企業・自治体では、請求書・納品書・申請書・契約書など、あらゆる書類が日々取り扱われています。オプロは帳票領域に特化した企業として創業し、帳票生成の自動化、申請書類のデジタル化、取引・収益管理の効率化など、書類業務が発生する各領域で業務変革に取り組んできました。

生成 AI や AI エージェントの進化に加え、MCP（Model Context Protocol）などを活用した AI と業務データ・業務機能の連携が進む中、書類業務は、電子化・効率化の段階から、AI が業務プロセスを支援する段階へと移行しつつあります。今回の発表を機に、オプロは AI 対応の新サービスにより書類業務の AI 活用を加速させます。

2026 年のリリース予定の新サービス

① 「AI申請ナビゲーター（開発コード：DUKE）」の提供

データ最適化ソリューション「AI申請ナビゲーター（開発コード：DUKE）」の提供を予定しています。「DUKE」は、自治体・金融機関・企業における各種申請手続きについて、申請者の「どの手続きが必要か」「どの書類を揃えればよいか」という疑問にAIが応え、正しい手続きへ案内するサービスです。

電子申請が普及する一方、手続きの複雑さによる問い合わせや差戻しは依然として課題です。「AI申請ナビゲーター」は申請前の案内・書類確認をAIが担い、申請者の迷いを解消します。

2026年4月リリースの「カミレスAIエージェント」では、受付・審査・承認・監査などの領域で6つのAIエージェントを提供し、申請プロセス全体を一貫して支援します。第一弾として「一次受付AI」をリリースしており、申請者はAIのリアルタイムな確認によって、不備のない申請が可能になります。「DUKE」が申請前の案内を、「カミレスAIエージェント」が申請後のプロセスを担うことで、これまで分断されていた申請フォームから審査・承認・通知まで一連のプロセスをつなぐことを目指します。

② 「新販売管理ソリューション（開発コード：REVEARTS）」の提供

新しいセールスソリューションサービスとして「新販売管理ソリューション（開発コード：REVEARTS）」の提供を予定しています。「REVEARTS」は、AIを活用しシステムを企業の既存業務に合わせて最適化する「Fit to Business」を実現する販売管理ソリューションです。顧客のビジネスに合わせてヘッドレス SaaS として利用も可能であり、AI エージェントの時代に向けて、AI 活用コンサルティング（FDE：Forward Deployed Engineer）などを含めた提供も行います。上流 CRM と下流 ERP の間に立つ独立した SoR（Systems of Record）として、使用する CRM や ERP の種類を問わず収益管理を一本化します。一元化された収益データをもとに、請求・予測・分析の自動化を支援します。

株式会社オプロについて

オプロは「make IT simple」のミッションのもと、お客様の新たなビジネスや価値の創出を支援します。「Less is More」を開発指針とし、データ最適化ソリューション・セールスマネジメントソリューションを通して最適なサービスを提供しております。

・コーポレートサイト：<https://corp.opro.net/>

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社オプロ（東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビルディング 9F）

お問い合わせ先：<https://corp.opro.net/contact/media.html>（広報チーム）